

2012 RIDING SPORT CUP 美浜シリーズ 競技規則 Ver1.02

第1章 大会開催に関する事項

第1条 主催者及び大会事務局

(株)美浜サーキット・クニモト
〒470-3235
愛知県知多郡美浜町大字馬池野間字16
TEL0569-87-3003 FAX0569-87-3001
mail: mail@mihama-ck.com

第2条 開催場所

美浜サーキット

第3条 開催日程

第1戦	4月29日
第2戦	6月10日 ※CBR250R CUP開催
第3戦	10月7日 ※CBR250R CUP開催
第4戦	11月25日 ※CBR250R CUP開催

第4条 開催クラス

- ・ M (2st50cc未満、4st100cc未満ミッションノーマル車両)
- ・ ST100 (鈴鹿ミニモトST車両)
- ・ SP (2st50cc未満、4st100cc未満一部改造ミッション車両)
※SP12、SP17、SP100、SS100混走、同一賞典
- ・ NSF100 HRC TROPHY
- ・ フレッシュマン (フルコース52秒以上)
※決勝走行タイムが51秒台を出された方は次戦クラスをUPすること
※第2戦は55秒台
- ・ 74Daijroクラス
- ・ キッズクラス
- ・ CBR250Rファンメイクレース

第5条 大会延期・中止及び変更に関する事項

大会主催者は大会委員会の承認を得て大会の一部または全部を延期中止することが出来る。イベントの全部を中止した場合にはエントリーフィーは全額返還されるが、天災地変の場合はこの限りではない。尚、参加者はこれによって生じる損失について主催者に抗議することはできない。

第2章 競技会参加に関する事項

第6条 エントリー方法

参加申し込み書に必要事項を記入し、署名捺印の上参加費を添えて現金書留、振り込み、または直接事務局へ申し込みして下さい。
尚、未成年者の場合は親権者の署名・捺印が必要です。
エントリーは1カ月前より受付開始し、7日前以降のエントリー受付は手数料として¥1,000必要となる。

店番440 普通 0025134
三菱東京UFJ銀行 半田支店
口座名 株式会社 美浜サーキット・クニモト

第7条 参加資格

健康でかつレースに出場するのに相応しい良識的判断のできる者。
ミニバイクでのサーキット走行経験者

第8条 エントリーの受理、ゼッケンについて

エントリーを受理したものはHP上のエントリーリストに表記します。HP上の表記を以てエントリーの受理と致します。またエントリー受付後のエントリーフィーの返還は一切行わない。ゼッケンはレース当日、受付にて配布致します。

第9条 エントリー費

通常エントリー	¥8,000
Wエントリー	¥14,000
年間エントリー	¥28,000 ※キッズ・74Daijroクラスは¥18,000
年間Wエントリー	¥54,000
キッズ・74Daijroクラス	¥5,000

※愛知・岐阜・三重県以外からエントリーされる方は¥2,000割引
キッズ&74Daijroクラスは適用外となります。

第11条

- ライダーの装備
- 1) レーシングスーツ、ブーツ、グローブは革製品とし、レーシングスーツはMFJ公認のスーツが望ましい。
 - 2) ヘルメットはMFJ公認のロードレース用が望ましく、ヘルメットリムーバーの着用を強く推奨する。
 - 3) いずれも、著しく損傷劣化しているものは使用不可とする。また背負い式脊椎パットの着用を強く推奨します。
 - 4) また、チェストプロテクターの着用も強く推奨します。

第12条

計測器(トランスポンダー)について
計測器(トランスポンダー)はレース当日朝、配布致します。必ず所定の位置に取り付けて下さい。紛失・破損については参加者の負担となります。また計測器は練習走行から必ず取り付けて下さい。

第3章 競技に関する事項

第13条

コースレイアウト

第1戦	フルコース
第2戦	フルコース+3コーナー
第3戦	フルコース+3コーナー
第4戦	フルコース

※1ボケバイ、キッズクラスは全戦南ショートコースとなります。※2 CBR250R CUPは全戦フルコース。

第14条

- 競技内容
- 1) 公式練習 15分
 - 2) 公式予選 10分
 - 3) 決勝レース1 10周
 - 4) 決勝レース2 10周
- ※路面ウエットでのレース開催については主催者、競技長より随時ブリーフィングで説明される。

第15条

- スタート
- 1) スタートは前方シグナルによるスタンディングスタートとする。決勝グリッドは予選の結果によって決定し、グリッドよりスタートできなかった者はピットスタートとする。予選同一タイムの場合はセカンドタイムで順位を決定し、グリッドについては4×4の配列とする。
 - 2) フライングをした者には、ゼッケンボードと黒旗を提示する。これを提示された者はピットインしなければならない。コース入口で一旦停止し、10秒後(コース入口で計測)レースに復帰することができる。
 - 3) 予選においてタイム計測できなかった者の決勝グリッドは、最後尾または主催者が指定したグリッドとする。

第16条

レース終了
各レース1位の者がチェッカーフラッグを受けてから、2分間でレースを終了する。2分以内でチェッカーを受けない場合には、完走と認めず、リタイア扱いとする。
また完走者のみを入賞獲得の対象とする。完走者とは、トップ周回の60%以上を走行している者。

第17条

- 順位決定
- 1) 順位決定はチェッカーを受けた順によって決定する。コントロールラインを通過する時は、ライダーとマシンが一緒に通過しなければならない。(押しで通過してもよい)
 - 2) 順位は完走者の中から周回数が多い順に決定される。
 - 3) 同一周回数の場合はコントロールラインの通過順による。

第18条

- レースの成立
- 1) レースは規定周回数をトップが60%周回した時点で成立とする。60%を周回した場合の赤旗によるレース中断は、その前週の着順をもって成立とする。
 - 2) 規定周回数の60%未満で赤旗によるレース中断となった場合は残り周回数で再スタートとする。グリッドについては当初のスターティンググリッドに戻ってレースを再スタートする。
 - 3) 競技長が競技続行不能と判断した場合、中断の前週の順位をもってレース終了とする。

第19条

- 公式練習・公式予選及びレース中における規則
- 1) 公式練習・公式予選は正当と認められる理由がない限り、必ず出走しなければならない。また、出走が不可能な場合は大会事務局へ連絡しなければならない。
 - 2) コースは常に先入者を優先とし、追い抜きをする者は前車の走行の妨害をしてはならず、また、前車は後車の進路を無理に妨害してはならない。
 - 3) コースオフィシャルが、違反、妨害行為(プッシング・ブロッキング・その他のスポーツマンシップに反する行為)とみなした者にはペナルティを科す。
 - 4) いかなる場合においても、逆走してはならない。但しコースオフィシャルの指示がある場合は除く。
 - 5) レース中、やむを得ずコースアウトした場合は除きコースを外れてショートカットする事は認められない。
 - 6) 諸君をさせるためにコースアウトした場合は、その最も近い場所からコースに復帰しなければならない。
 - 7) スタートを含めレース中にコース内に停止した車両の選手は、他の選手に動かないことをアピールし、それらが通過した後に安全な場所移動しなければならない。更に、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できる。

2012 RIDING SPORT CUP 美浜シリーズ 競技規則 Ver1.02

- 選手が修理のためにピットに向かう場合は、コースに沿ったグリーン上を周回方向にのみ車両を押して移動することができる。
- コース上でリタイヤする選手はコース上の安全な場所に移動しレース終了まで待機すること。また、近くのコースオフィシャルにリタイヤの意思を伝えること。
- ピットイン・ピットアウトは決められた場所で行うこと。ホワイトラインカットはペナルティ対象となる。
- レース中にパドックに入った車両はレースを放棄したものとみなし、再びコースに入ることは許されない。
- 参加選手の補助に関しては、コースオフィシャルのみが対応することができる。
- レース進行中の大会役員、コースオフィシャルの裁定に対する抗議は受け付けない。
- コース内では、いかなる場合でもライダー装備をすべて装着したままとする。

- 第20条 フラッグ
- イエローフラッグの解除は、現場通過後の解除とする。
 - 技術的トラブルのある車両へはオレンジボール旗とゼッケンNOを提示するが、対象車両は速やかにピットインすること。
 - フラッグを無視したものに對しては厳重注意または、ペナルティが科せられる。
 - コース上にグリップに影響を及び物質がある場合には、各ポストでイエローフラッグを提示する。

第4章 抗議に関する事項

- 第21条 抗議
- 抗議が出来る権利を持っているのはライダーのみであり、他者からの抗議は一切受け付けない。競技に関するこの判断はすべて競技長の解釈を最終判断とする。

第5章 賞典に関する事項

- 第22条 賞典
- 決勝の結果により、ライダーに対して以下の賞典を行う。各クラス1位から3位までエントリが5台未満の場合は1位のみの表彰とする。
- 第23条 1) レースポイント
- レースポイントは1位=15 2位=12 3位=10 4位=9 5位=8 6位=7 7位=6 8位=5とします。
9位=4 10位=3 11位=2 12位以下は1ポイント付与。※完走者のみ
- レース1とレース2の合計ポイントによって表彰対象とする。
※同一ポイントの場合はレース1、レース2どちらかのポイントの高い方を優先する。
※同一ポイントでさらにレース1レース2のポイントが同じ場合はレース2の順位を優先する。
- 第24条 美浜シリーズ表彰
- シリーズ4戦(8レース)の合計ポイントでシリーズチャンピオンが決定

第6章 保険について

- 第25条 1) 2012年度より全国のライディングスポーツカップ参加者がスポーツ安全保険に加入していただくことができますようになりました。
これはチームライディングスポーツが設立した任意団体「2輪モータースポーツ育成協会」が、「(財)スポーツ安全協会」が運営する「スポーツ安全保険」に団体加入し、登録競技者、イベント参加者の不慮の事故に対して補償するものです。
ライディングスポーツカップ参加者の方はこのスポーツ安全保険に入られることを推奨致します。
- 2) 保険責任期間
平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで
- 3) 料金
大人(高校生以上) 3,150円
子供(※1参照) 2,100円
※1 平成25年3月31日に15歳以下の方
詳細につきましては別紙参照
- 5) 申し込み方法
別紙申し込み用紙に記入し、サーキット事務局まで保険料とともにお持ち下さい。
※保険加入手続き完了までに1週間ほどかかります。よってレース開催1週間前までには申し込みを行って下さい。
- 6) 適用サーキットについて
この保険はライディングスポーツカップ主催サーキットであれば加入また保険が適用されます。よってサーキットごとに加入する必要はありません。

第5章 その他の事項

- 第26条
- パドックエリア及び駐車場の利用について
美浜サーキットパドック・駐車場使用における場所取りを行なう場合、トランポ等を置いて場所を取ることは構わないが、タイヤ等を置いて過度に他の参加者も利用する場所を取ることは禁止致します。また、レース後に使用したタイヤはサーキットでは処分できません。持ち帰っていただきますようお願い致します。
- 第27条 廃油
廃油はサーキット指定の廃油缶に処分して下さい。
- 第28条 管理棟の利用について
管理棟はレース前日夜空いておりますが、管理棟内での火気の使用は禁止致します。また缶・ベントボトル以外にでたゴミの処分は致しかねます。
- 第29条 その他
- レース仕様車で、サーキット付近、一般公道を走行することを禁止する。
 - パドック・ピット内でのプレーキテスト・タイヤテスト等は禁止する。
 - ピット・パドックエリアは全面禁煙です、たばこを吸う場合は灰皿のある指定場所をご利用下さい。
 - サーキット内で発生したごみは、すべて持ち帰ること。
- 第30条 車両規則
車両に関する事は「2012 RIDING SPORT CUP 中部・美浜シリーズ車両規則書」に従うこと。
- 第31条 主催者の権利
競技運営に伴う判断・決定の権利はすべて主催者にある。
また競技に関するこの変更その他はすべてHP上で発表される。

車両規定

- 第32条 総合規定
- ブレーキは前後独立したもので、それぞれ有効なブレーキを備えていること。
 - 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートはとりはずすこと。ライト、ウインカー、テールランプは取り外すか、テーピングを施すこと。
 - ハンドルは左右に一杯切った状態で、指を挟まないよう燃料タンク、カウル等に間隔を確保させること。
 - レバー類、ペダル類は安全上先端を丸くすること、またそれらの変更は可。
 - カウルなどを取り外した場合、そのステーは取り外すこと。その際フレームの加工は不要ステーの削除のみ可。
 - 同一型式以外でのエンジン・フレーム交換は認めない。但し、NSR50⇔NSRmini NS50R⇔NS50Fは互換性を認め全ての部品の組み合わせが可。但しエンジンの基本性能に変化の生じる組み合わせは不可)
 - オイルレインボルト(エンジンオイル、ミッションオイル)、給油口はステンレスワイヤーを用いワイヤーロックすること。
 - 燃料タンクにブリーザーパイプを取り付ける場合は、キャッチタンクを取り付けること。
 - オイルキャッチタンク、燃料キャッチタンクは、走行前に必ず空にしておくこと。
 - 車両の音量が極端に大きな車両は失格とする場合がある。最終判断は競技長の見解に委ねる。
 - ラジエーターを装着している全ての車両はリザーブタンクまたはキャッチタンクを取り付けること。
なお、サーモスタッドは取り外し可能。
 - キャブレターからのオーバーフローパイプには、キャッチタンクを取り付けること。
タイヤは一般市販タイヤ(競技用を除く)を使用すること、レインタイヤについては一般市販タイヤ及び競技用タイヤのどちらでも可。
 - レース後分解車検を行うことができる。
- ・Mクラス 2012関東ロードミニ選手権Mクラス車両規定に準ずる。
- ・SPクラス 2012関東ロードミニ選手権SP12・SP17・SS100車両規定に準ずる。
(SP12・SP17・SS100クラス混走、同一賞典)
※SS100クラスフライホイールの改造・変更可
※SP12(4st車両)のクラッチハウジング変更は可
- ・NSF100クラス 2012NSF100 HRCTロフィー車両規則に準ずる。
- ・ST100クラス 2012鈴鹿ミニモト車両規則に準ずる。
- ・フレッシュマンクラス M・ST100・NSF100クラスのレギュレーションに準ずる。
- ・74Daijuroクラス デルタ 74DAIJURO CUP 車両規則に準ずる。
- ・キッズクラス 2012関東ロードミニ選手権キッズクラス車両規定に準ずる。
- ・CBR250R CUP CBR250R CUPレギュレーションの準ずる。